

新田原基地におけるF-35Bに関する 今後のスケジュールについて



令和 7 年 7 月
防 衛 省

新田原基地におけるF-35Bに関する 今後のスケジュールについて

【これまでの経緯】

- F-35Bについては、令和3年に、令和6年度から配備を開始することを、令和5年には、2個目飛行隊を配備することを御説明させていただきました。
- その後、新田原基地におけるF-35Bの垂直着陸訓練の在り方について、防衛省としての考え方を再度整理した上で、本年2月以降、関係自治体への御説明と、計10回の住民説明会を行わせていただいているところです。
- 垂直着陸訓練等の実施について、地元の皆様から頂いている大変厳しい御指摘は防衛省・自衛隊としてしっかりと受け止めています。現在、どのような負担軽減が可能か、真摯に検討を行っているところです。

【今後のスケジュール】

- ソフトウェアの開発遅延により機体の納入が遅れておりましたが、今般、製造や飛行試験等が完了し、日本側への引き渡しが行われ、8月7日に新田原基地に配備されることとなりました。
- 9月中旬、配備される機体を用いて、一連の説明の中で強く御要望をいただいております、F-35Bの飛行実演を実施させていただきます（飛行実演では米軍要員が機体を操縦します）。
- この飛行実演を通じ、住民の皆様に実際にF-35Bの騒音等の特性を御体感いただいた上で、防衛省としての検討結果を地元の皆様方に丁寧に御説明させていただきます。
- なお、関係自治体及び住民の皆様への御説明までの間において、飛行実演を除き、F-35Bの飛行訓練を実施する計画はありません。

今後のスケジュール

日程	予定
8月7日	<u>4機が米軍パイロットによる操縦で飛来し、配備（到着時に、通常着陸・垂直着陸・スローランディングを実施予定）</u> （注）令和7年度中に8機納入予定であり、残り4機の納入時期については、引き続き調整中です。 天候により、飛来日の延期、着陸方法に変更の可能性があります。
9月中旬	 受領後の検査や整備体制の構築 <u>基地周辺における飛行実演（短距離離陸、垂直着陸及びスローランディングの実施を含む）</u> （日程等の細部は後日お知らせします） （注）飛行実演の際の操縦者は、航空自衛隊のパイロット教育の教官となる米軍の要員です。
調整中 （飛行実演により、住民の皆様へF-35Bの騒音等の特性を御体感いただいた後、実施） ※ 詳細は、今後調整させていただきます。	<u>負担軽減にかかる検討結果についての御説明</u> <u>※ 関係自治体及び住民の皆様への御説明までの間において、飛行実演を除き、F-35Bの飛行訓練を実施する計画はありません。</u>